

サプライチェーンマネジメント 担当役員のメッセージ

MESSAGE

取引先さまとの協創・協働により、  
柔軟なサプライチェーンを全員で構築



執行役員SCM総括  
藤掛 博幸

**ア**ンリツの製品は、人々の生活をより快適で便利にする通信ネットワークの高度化の実現や食品、医薬品の安全・安心を支える品質保証において重要な役割を担っています。こうした高付加価値製品を市場のニーズに応えタイムリーに提供するため、お客さま・取引先さまとともに柔軟なサプライチェーンを構築することがSCMの責務となります。それにはサプライチェーン全体であらゆるステークホルダーの方々へきめ細やかな情報提供を行い、コミュニケーションの充実を図っていくことが最も重要です。為替変動に対応し、低コストで信頼性が高く、壊れにくい、作りやすい、調達しやすい、保守しやすい高付加価値製品の提供に向けて、取引先さまを含めたサプライチェーンに関わる全員で夢を語り、夢を創造し、その実現に取り組んでまいります。

Social

サプライチェーンマネジメント

社会課題に対する考え方

大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大により、事業継続リスクが高まっています。また、サプライチェーンの拡大・複雑化にともない、労働問題、人権侵害、環境汚染など、さまざまな問題が生じています。

グローバルに調達活動を展開しているアンリツグループにとって、より良い製品を提供し、継続的に企業活動を進めていく上で、柔軟でグローバルなサプライチェーンマネジメント体制を構築し、ESG課題にも応える取り組みが必要不可欠です。そのために、国内外の全ての企業に機会を提供し、公平な評価により調達を実施するだけでなく、関係する法律、商習慣、社会規範の遵守、人権の尊重を基本に、取引先さまとのより強固なパートナーシップを構築し、サプライチェーン全体を通じたマネジメントを行い、社会の期待・要請に答えていくことが重要であると考えています。

方針

調達活動にあたり、取引先さまとサプライチェーン全体で活動し、相互の成長につなげていくことが重要であると考えています。取引先さまとの相互信頼に基づいたパートナーシップを構築するために、2005年に「資材調達基本方針」を制定し、取引先さまにご理解とご協力をお願いしています。また、「アンリツグループCSR調達ガイドライン」、「アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン」を定めて取引先さまに協力を要請し、人権、労働・安全衛生、環境、公正取引、倫理などに配慮したサプライチェーンの構築を進めています。

WEB アンリツ資材調達基本方針

WEB アンリツグループCSR調達ガイドライン

WEB アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン

体制

アンリツは、主に米国、中国、日本に調達拠点を構えています。グローバルな連携を図るために、部品採用における評価基準をグローバルで統一し、各拠点が認定したサプライチェーンの相互活用を可能とする体制を構築

しています。

また、アンリツグループ全体で共通して取引できる取引先さまを認定する「グローバル推奨サプライヤ(GPS: Global Preferred Suppliers)」制度を設けています。調達活動の効率化を図るとともに、取引先さまと開発ロードマップや技術的課題を共有することで、製品開発のTTM(Time To Market: 商品の市場投入までの時間)短縮を実現していきます。これまで10社を認定しています。

## 目標

中期経営計画GLP 2020で次の目標を掲げて取り組んでいます。

### ①グローバルなCSR調達の推進

- 海外取引先さまを含むサプライチェーン全体で、CSR調達を推進
- デューデリジェンスを活用したマネジメントによるグローバルサプライチェーンの強化

### ②グローバルなグリーン調達の推進

- 海外取引先さまを含むサプライチェーン全体でグリーン調達を推進
- 環境パートナー認定取引先さまの拡大によるグローバルサプライチェーンの強化

## 取り組み／活動実績

### アンリツグループCSR調達ガイドラインの制定

2010年度に、(一社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠して、「アンリツグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。アンリツWebサイトで公開するとともに、新たな取引先さまとの取引開始時や取引先さまへの方針説明会で、「CSR調達」への理解と取り組みをお願いしています。

WEB アンリツグループCSR調達ガイドライン

### サプライチェーン・デューデリジェンス

新規の取引先さまに対しては、信用状況の調査、品質管理・環境管理状況の調査、工場調査などを行っています。また、2011年度から、CSR調達の推進に対して協力をいただくために、「同意書」の提出をお願いしており、多くの取引先さまからいただいています。この一環として、取引先さまでのCSRへの取り組みを確認する目的で人権・労働、安全衛生、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティなどの項目を設けて「CSRアンケート」を実施するとともに、往査も行っています。2019年度は中国・台湾の2次取引先さま2社を往査しました。インタビューや現場調査を通じて、両社ともCSR推進体制を構築し、所管部門にて関連規程、教育資料、記録が十分に揃えられているなど、人権・労働、安全衛

生について重大なリスクがないことを確認しました。

### 現代奴隷法

アンリツでは、サプライチェーン・デューデリジェンスの中でも、特に人権問題に注力しており、「英国現代奴隷法」を遵守しています。アンリツ(株)およびAnritsu EMEA Ltd.は同法の適用対象であり、2016年から毎年両社のWebサイトでステートメントを開示しています。2019年度に行った同法に対する取り組みでは、前述のCSRアンケートの実施と往査について、ステートメントにも記載し、公開しました。また、2018年にオーストラリアで制定された「豪州現代奴隷法」の適用も受けるため、2020年中にアンリツのステートメントをオーストラリア政府へ登録する準備を進めています。

### 紛争鉱物

アンリツは紛争鉱物の問題に対しても、継続的な取り組みを行っています。この一環として2012年に最終規則採択された米国金融規制改革法第1502条(いわゆる紛争鉱物規制)に賛同しました。アンリツ製品に紛争鉱物が含まれることを防ぐために、取引先さまに対して説明会を開催して主旨をご理解いただく対応を行っています。お客さまからの紛争鉱物調査に対しては、国内外の取引先さまに調査を依頼して回答しています。

WEB アンリツ資材調達基本方針

### コンプライアンスの実践

「接待や贈答品を受けない」、「取引先さまのインサイダー情報による株式の売買は行わない」などの、行動規範の遵守を徹底し、公正かつ透明性のある取引を行っています。さらに、取引先さまからの生の声によりCSR調達などを推進するため、「声の直行便」ポストを本社と郡山事業所の商談室に設けています。今後も取引先さまと一体となり、CSR調達を進めていきます。

### 購買担当者の教育

資材部門に配属された新入社員や異動者には、CSR調達ガイドラインなどを用いてCSR調達活動全般に関する教育を行っています。また、SDGs、英国現代奴隷法、下請法、ISO 9001などをテーマにしたWBT (Web-Based Training) や、人権・労働に関するケーススタディについて職場やチームで意見交換を行い、理解や意識向上を図っています。

### グリーン調達ガイドライン

アンリツグループでは、取引先さまとともに環境に配慮した製品づくりを推進するために、1999年度に「グリーン調達ガイドライン」を定め、環境に配慮した部品や材料を優先的に調達するグリーン調達を実施してきました。2016年度から、「アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン」に改め、生産拠点のある海外アンリツグループとグリーン調達の共通化を行っています。RoHS指令やREACH規則など、欧州を中心に世界

的に広がりを見せる化学物質規制に対しては随時ガイドラインの見直しを行い、取引先さまとともに徹底を図っています。

WEB アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン

### 環境パートナー企業認定制度

アンリツは、2001年度にグリーン調達を推進するため、「環境パートナー企業認定制度」を創設しました。取引先さまの環境への取り組みを評価し、優良な取引先さまを認定しています。2019年9月からは、製品含有化学物質管理に焦点を当てた評価に変更しました。チェックシートにより管理状況を上位からA, B, Cの三段階で評価し、AおよびBランクの取引先さまを環境パートナー企業と認定しています。現在の環境パートナー企業認定企業数は210社です(2020年5月実績)。一方、改善の余地のある取引先さまに対しては、レベルアップを支援しています。

#### ■ 環境パートナー制度ランク

Aランク	管理を確実にしている	
Bランク	基本的要件を満たしている	サポート/改善を実施
Cランク	確実に管理するシステムが無い	

### 取引先さま製品展示会

アンリツは、毎年取引先さまの製品や技術をエンジニアに紹介し、情報交換を行う製品展示会を開催していま

す。2019年度は12月に開催し、44社の取引先さまに参加していただきました。今回は、5G、IoT、自動車、データセンタに向けた次世代技術をテーマに、ミリ波・マイクロ波向けの部品、プリント板技術、光部品など、新製品や新技術が一堂に会しました。同時に、取引先さまによるセミナーを開催し、市場の最新動向の把握と最新技術の習得を図りました。

### 取引先さま懇親会

アンリツは毎年1月に、取引先さまを招いて懇親会を開催しています。2020年は国内外から148社、318名の皆さまにお集まりいただきました。この会では、グループCEOや各事業の責任者がプレゼンテーションを行っています。今年は主に5Gにフォーカスして、商用化やローカル5Gの展開状況、アンリツの取り組みなどについて説明しました。さらに、新たな取り組みとして、アンリツグループの各事業の主力商品を展示し、アンリツのビジネスと成長戦略の理解促進を図りました。

資材調達に関しては、グローバル体制の下、協働と協創によるバリューチェーン拡大のために、さらなるパートナーシップ強化を取引先さまに呼び掛けました。また、品質・納期・価格全ての面ですぐれた取引先さまを表彰しました。



### パートナーQU(Quality Up)提案活動を推進

取引先さまとのコミュニケーションツールとして、Anritsuに対する改善案・要望点・ご意見などを提案いただく「パートナーQU(Quality Up)活動」を推進しています。調達に限らず、営業・技術・製造・サービス・安全衛生・環境・CSRなど幅広い分野での提案を受け付けており、業務改善に役立てています。

パートナーQU提案協議会で、提案を審議し採否を決定するとともに、優れた提案を行った取引先さまを表彰しています。2019年度は、設計変更によるコスト削減や手配方法変更による納期短縮など、35件の改善提案があり、26件を採用しました。

### コラボレーションルームの設置

Anritsuの開発エンジニアと取引先さまとのコミュニケーションを一層活性化させ、新たなソリューションを生み出す場として、社内に複数のコラボレーションルームを開設しています。メーカー・代理店のセールスエンジニアが日替わりで駐在し、開発推進に大いに役立っています。

### サプライチェーンBCP

災害発生後、迅速に生産資材の確保に向けた行動を開始するために、以下の初動体制を整えています。

- ①自然災害発生地域に含まれる取引先さまを速やかに把握するために、取引先さまの最新製造拠点を地図上にプロットして可視化しています。

②自然災害の規模や被災状況などに応じて、対処レベルを区分けしています。

また、取引先さまとは日ごろから十分なコミュニケーションを行っており、災害などの難局に直面した時、連携して乗り越えていく関係が構築されています。